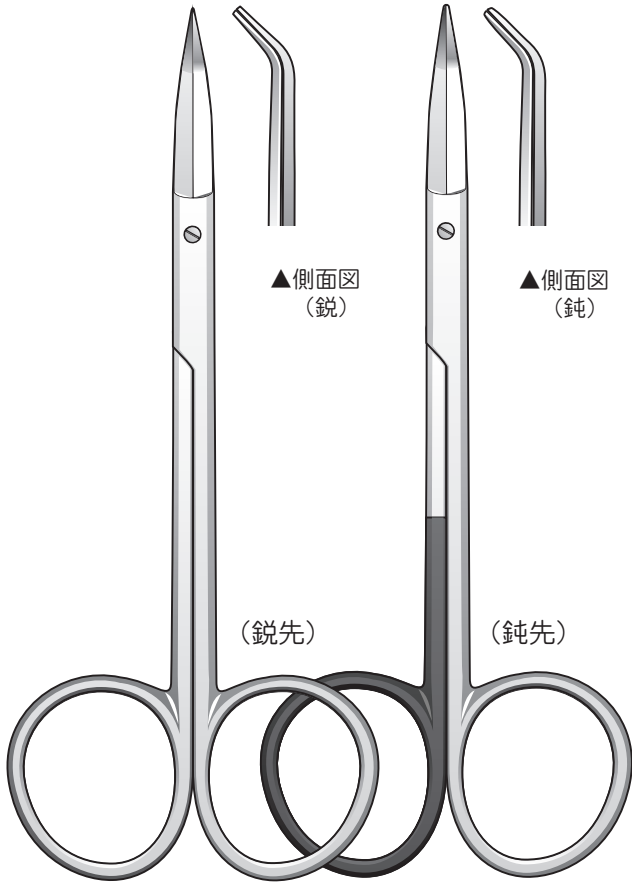


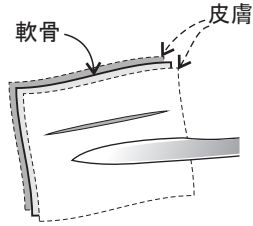
手術

●JB950 (カルティレージセット)

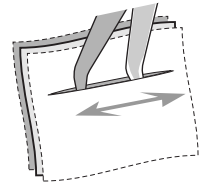
○カルティレージ剪刀 (鋭・鈍)



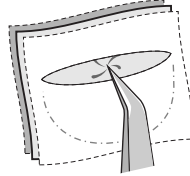
- ※ 刃先の外観では判別しにくいいため鈍先の片リングを黒くしてあります。
- ※ 刃先は両刃仕上げです。



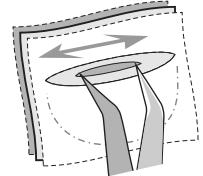
①メスで皮膚に切込み
 (手術切開層から採取する場合はこの工程は不要)



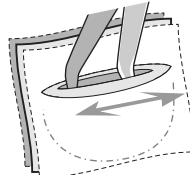
②鋭先と鈍先を使い分けて皮膚剥離



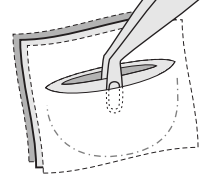
③鋭(あるいは鈍)先で軟骨に切込み



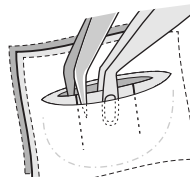
④先端両刃部を利用して往復開閉で軟骨切開



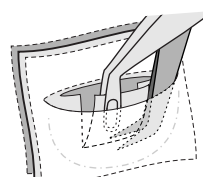
⑤軟骨裏面を剥離皮膚突破に注意



⑥遊離した軟骨を鑷子で把持



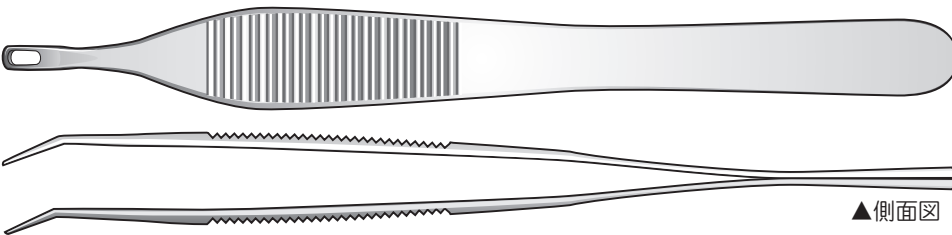
⑦鋭(あるいは鈍)先で切り



⑧底辺が切りやすいのも特長

○カルティレージ鑷子

※ 軟骨採取時の把持およびスライス補助。軟骨面に対して低侵襲に採取することができます。



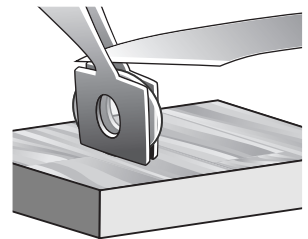
※ 先端把持面は綾目加工(クロスハッチング)

●カルティレージ鑷子 (先端部10mm×10mm)

※オプション別売品 JB953a



※ 先端部が約1平方センチメートルで、大きな軟骨の薄切に適しています。



※ スライス時は軟骨を鑷子で強く把持し、尖刃メスで垂直方向に切る(メスは別途ご用意下さい)